

夏休みは、図書館で本を借りよう!



暑い毎日が続いていますが、みなさんはいかがお過ごしですか? 暑い日が続く中、外に出たくないときなどぜひ、涼しい図書館をご利用ください。

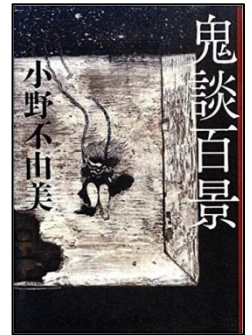
怪談・心霊の本

夏の定番である怖いお話。今回は、怪談や心霊などの怖い話の本を3冊紹介します。



『鬼談百景』 小野 不由美著 メディアファクトリー

学校に建つ男女の生徒をかたどった銅像。その銅像の切り落とされた指先が示す先には、何があるのか!? 恐怖短編 99 話が収録されています。



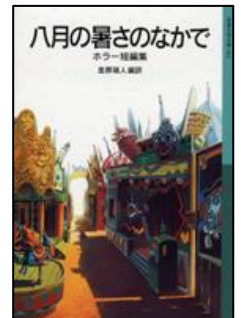
『目嚢』 加門 七海著 光文社

怪談作家の鹿角南は、いとこの嫁ぎ先の家から見つかった古文書『目嚢』を預かることになります。そこに記されていた怪談に興味をひかれ、調べはじめます。



『八月の暑さのなかで』 金原 端人編訳 岩波書店

英米のホラー小説に精通する訳者自らが編むアンソロジー。エドガー・アラン・ポー、サキ、ロード・ダンセイニなどの著名な作家による児童向けのホラー短編集です。ユーモアあふれたホラーのお話が 13 編入っています。



~学習席の利用について~

宗像ユリックス図書館は、学習席を設けておりません。宗像ユリックス学習室をご利用ください。受付は、宗像ユリックスインフォメーションです。

本の交換会のお知らせ

8/27 (日)に河東地区コミュニティ・センターで本の交換会を予定しています。家に眠っている本を気に入った本と交換しませんか? 詳しい情報は、ホームページ・チラシをご覧ください。

